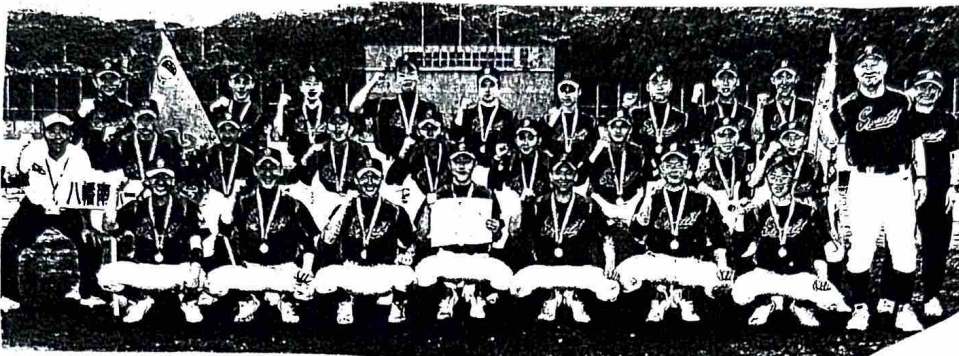


第56回選手権大会支部予選

【中学】北九州支部予選 準決勝、決勝
（15日福岡トヨタの場池スタジアム）

春夏連続で全国大会に出場する八幡南

報知ボーイズリーグ



八幡南 春夏連続 全国



▼決勝

| | | | | | | | |
|-------|-------------|------|-------------|-----------|--------|---|---|
| 八幡南 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 |
| 小倉 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 |
| 【八幡南】 | 春田、佐野、吉永、井土 | 【小倉】 | 家村、富坂、富坂、家村 | 【春田（八幡南）】 | 川上（小倉） | | |
| | | | | | | 3 | 4 |



▼準決勝

| | | | | | | | |
|-------|----------|--------|---|---|---|---|---|
| 八幡南 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| 福岡門司 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 【八幡南】 | 原田、吉永、井土 | 【福岡門司】 | 柳 | | | | |
| | | | | | | | |

▼2回戦

| | | | | |
|-----|---|---|---|----|
| 八幡南 | 8 | 0 | 5 | 2 |
| 八幡 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 0 | 1 | 5 | 15 |

【南】春田、吉永、井土【八幡南】岡崎、大庭、植松、春田（南）【八幡南】田、井土（南）【石橋、中原（南）】

▼1回戦

| | | | | | |
|--------|---|---|---|---|----|
| 八幡南 | 4 | 0 | 3 | 2 | 4 |
| 山口・小倉東 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 |

【八幡南】原田、佐野、吉原、花元【八幡南】井土【山口・小倉東】河川、盛重、川崎、井土（八幡南）【春田、松永、原田、井土（八幡南）】

持ち味出せた！

八幡南は準決勝の福岡門司戦でも最終回に決勝点を入れた。1-1で迎えた7回に先頭の吉原が二塁打で切り開き、石橋凌真の犠打で1死三塁。続く9番の大山純大が左前に運んで1点を奪うと、吉永の適時二塁打で追加点を挙げた。決勝打の大山は「逆方向へ打つのが得意なので持ち味を出せた」と喜んだ。



準決勝の7回、適時打を喜ぶ八幡南・大山

「チームのために」

最終回の1点の差に、八幡南ナインが培ってきた経験と自信、そして勝利への執念の差が表れた。小倉との決勝は、6回を終えて3-3。両チームとも7回の攻撃は一番から。先頭が出塁し、次打者が送りバントを決めたシチュエーションはどちらも同じ。しかし、7回のスコアボードに得点が刻まれたのは先攻の八幡南だけだった。

先頭の吉永凌真が死球で出て、吉原悠介の犠打で1死二塁。3番の原田宗将は「（5回の適時打は）ボテンヒットで」まともなヒットを打っていただけだったので、チームのために一本打ちたかった。相手エースの富坂侑が直球で勝負してくると読み、2球目の直球を振り抜いた。鋭い打球は右前へ。二塁走者の吉永が俊足を飛ばして生還した。

7回裏は1死二塁と一打同点のピンチを迎えた。3番投手の吉永は「悔いが残らないよう、出し切ろうと思った」と全力で腕を振り、三振と右飛に仕留めて1点のリードを守った。徳

野崎美監督は「どうなるかと思っただけに二番の粘りが勝った。よく頑張ってくれた」と笑った。

再び上昇カーブを描いた。チームは昨秋から今年2月にかけて優勝5回と圧倒的な戦績を残したが、3月の春季全国大会を終えた後は3大会に出場して一度も準決勝に勝てず、足踏みしていた。成田大倭主将は「一人ひとりの勝ちたいという思いが欠けていた」と苦戦した理由を明かす。対戦相手も力をつけてきて、昨秋のような横綱相撲はできなくなった。

どこにも負けてない全国大会へ強い思い。それでも、全国大会への思いは、どこにも負けていなかった。全国制覇を目標に掲げながら3回戦で敗れた春の悔しさを晴らしたい。皆が強い気持ちで試合に臨んだことが接戦での強さにつながった。「全員で一つになって日本一を目指す」と成田主将。強さを取り戻した八幡南ナインが頂点目指して突き進む。